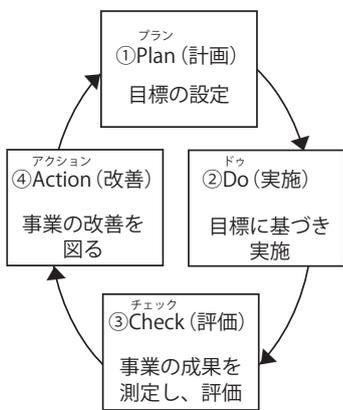


# 効率的な行政経営のために

市は、行政改革に積極的に取り組み、効率的かつ効果的な行政経営に努めています。今回は、その取り組みの中から、行政評価の実施状況についてお知らせします。

くわしくは 総務課 行政改革係 ☎ 21-5130

図：PDCAサイクル



行政評価とは、行政が行っている活動について、それらの内容や成果などの評価を行うことで、その結果を次の展開につなげる取り組みです。これまでの行政経営は、行政(市民)サービスの量(計画)と「実行」に重点を置いていました。

しかし、財政状況が厳しい中では、限りある財源を有効活用し、行政サービスの質を向上させることが重要となっています。

そのためには、目標を設定した「計画(Plan)」に基づき、事業を「実施(Do)」し、事業の成果を測定し、「評価(Check)」することによって、事業の「改善(Action)」を図ることが不可欠です。

この「PDCAサイクル」を繰り返すことにより事業を継続的に改善し、次年度以降の計画立案につなげていきます。

## 行政評価とは

## 日光市の行政評価

市は、効率的かつ効果的で質の高い行政経営を推進するため、また、市民の皆さんにとって本来に必要な事業を行い、それに対する説明責任の向上を図るため、行政評価を実施しています。さらに、行政評価の結果を翌年度の事業に生かすために、総合計画や予算編成に反映させていきます。今年度の評価対象は、「日光市総合計画後期基本計画」に位置付けられた施策52分野と、各施策に基づく692の個別事務事業です。

評価には、施策の目標(目的)を達成するため、施策の方向性ごとに評価を行う「施策評価」と、個別事務事業の対象や目的などを明らかにし、成果や現状を点検・確認することと今後の事業展開を評価する「事務事業評価」があります。

事務事業評価は、個別事務事業が施策の目標(目的)達成に対して、「妥当性」、「効率性」、「有効性」の3項目をそれぞれ検証し、下表に照らし合わせて総合評価を行います。

市が平成27年度に取り組んだ個別事務事業に対する総合評価の集計結果についても下表のとおりです。

なお、施策評価や各個別事務事業の詳細な評価内容は、市ホームページで公表しています。

表：総合評価の考え方と集計結果

総合評価	評価内容	妥当性	効率性	有効性	平成27年度 総合評価の集計結果
<b>A</b>	計画どおりに事業を進めることが適当	○	○	○	531 事業
<b>B</b>	事業の進め方の改善または、実施主体の見直しの検討	○	×	○	98 事業
			○	×	
<b>C</b>	事業規模・内容の見直しの検討	○	×	×	28 事業
<b>D</b>	事業の抜本的な見直し、休・廃止の検討	×	妥当性がない事業は「D」を選択		23 事業
※平成26年度以前に事業完了・廃止もしくは平成27年度実施見送り事業数					12 事業